

2023年9月13日

各位

会社名 株式会社 坪田ラボ
代表者名 代表取締役社長 坪田 一男
(コード番号：4890 東証グロース市場)
問合せ先 執行役員管理本部長 清水 貴也
(TEL 03-6384-2866)

令和5年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）の第2回公募の採択について

2023年9月4日に、当社（代表取締役 CEO・坪田一男）が、麻布大学獣医学部動物応用科学科・菊水健史教授、ジャペル株式会社（本社・愛知県春日井市、代表取締役・水野昭人）と共同で行っている「高齢犬の認知機能低下に対する介入による認知機能改善機器の研究開発」が、令和5年度成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）の第2回公募において採択されました。

本採択は、東京証券取引所の規則に定める適時開示には該当いたしません。有用な情報と判断したため、任意開示いたします。

【採択された研究開発の概要】

売上が年々増加傾向にあるペット業界においては、ペット犬の高齢化に伴い、飼い主の経済的・精神的負担に加え、高齢犬の生活の質の改善など、課題が顕在化しており、認知機能低下の予防とその早期介入が重要となりつつあります。

こうした中、マーケットニーズへの対応をしていくために、高齢犬の認知機能健康改善を目的とした新たな機器を開発します。麻布大学獣医学部と共同研究契約を締結し、高齢犬へのバイオレットライトの利用に係る安全性・効果を確認するための動物実験を実施し、プロトタイプの改良に取り組みます。このプロトタイプの制作やビジネスモデルの立案については、ペット業界の卸企業で、当社と研究委託契約を締結しているジャペル社のアドバイザーと協議しながら進め、実現性が高く、多くの飼い主に訴求するサービスの開発を目指します。

なお本研究の詳細につきましては、2023年5月10日に弊社より開示しました「高齢犬の認知機能低下予防、早期介入の可能性を探る麻布大学、ジャペル株式会社とのパイロットスタディ開始について」をご参照下さい。

【成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech 事業）概要】

①制度の目的

本事業は、中小企業庁が、中手企業者等による精密加工、表面処置、立体造形等のものづくり基礎技術及びサービスの高度化を図ることを目的として、中小企業者等が大学・公設試当と連携して行う、研究開発や試作品

開発、その成果の販路開拓に係る取組等を最大3年間支援するものです。

②対象事業

「中小企業の特異ものづくり基盤技術及びサービスの高度化等に関する指針」に記載された内容に関する研究開発等

③補助事業期間と補助金額等

補助事業期間：2年度又は3年度

補助金額（上限額）：【通常枠】 単年度4,500万円以下、2年度の合計で7,500万円以下、3年度の合計で9,750万円以下

補助率：中小企業者等 2/3以内

【当社にとっての意義および今後の事業化戦略】

①研究開発成果に係る製品

バイオレットライト照射による老齢犬の認知機能改善機器であり、犬の高齢化に対して、新しいアプローチで予防・改善を目指すことができ、新たな市場を生み出すものです。バイオレットライト装置を動物に活用する初めての製品として、また日本発の高齢犬向け製品として、世界に売り出すことができる先進的な製品であると考えております。

②今後の事業化戦略

バイオレットライトに関わる技術については、ヒトでは脳の血流を活性化することは認められており(N. Sasaki, K. Tsubota et al. 2021)、犬においても同様の効果を目指して開発しています。本研究によりデータを集積することができれば、本事業の実現性は高いと考えており、世界的に社会課題化するペットの高齢化に対応できるバイオレットライト技術をコアにした製品として、グローバルに事業展開してまいります。

またバイオレットライトは、太陽光に含まれる波長の光であるため、犬のみならず、太陽光を浴びる必要のある動物に対して応用ができる可能性が高く、ペットが散歩によって得ていたベネフィットを屋内で得ることができる製品としての展開も考えられます。

さらには、健康に資する光環境を家庭に幅広く提供するプラットフォームビジネスの創出にも繋がるものと考えています。

【当社業績への影響】

本採択による当社業績への影響は軽微となる見込みです。

以上